



鶴岡市議会議員〔無会派・産業建設常任委員会〕

# 田中ひろし 市政報告

2014  
JAN.

＜連絡先＞ 事務所 〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町 13-35 メール：officefon@gmail.com  
TEL 0235-22-0068 FAX 0235-22-0098  
議会事務局 〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町 9-25 鶴岡市役所 2階  
TEL 0235-25-2111 FAX 0235-24-9071

11月27日付の荘内日報が【鶴岡市新文化会館実施設計まとまる 総事業費3割増の60億円】と1面で大きく報じました。12月定例会には、舞台設備などを除く本体建設工事費用として44.4億円の債務負担行為が上程されています。

去る9月定例会における一般質問で、私は資機材と人件費の高騰、消費税アップなどが予算に与える影響を問いました。その時の答弁によれば「実勢価格を充分調査し、消費税の影響等にも対応した設計価格と工期を設定し、適正に工事発注していきたい」と。スケジュールについては「実施設計は9月末の完了予定」「28年度当初の開館を目指していきたい」との答弁でしたが、実施設計段階で2ヶ月遅れており、開館は28年度夏頃にズレ込む見通し。今後も予算を許しません。

東日本大震災被災地での復興需要に加えて、東京オリンピック開催も決定し、ますます資機材と職人さんの不足、そして価格高騰が予想されます。最近の公共工事でも3割増しは当たり前、倍増するケースも少なくないとのこと。なんとかこれ以上のコスト増を避け、開館時期が延びないように、担当部署とともに知恵を絞っていかねばなりません。

世界的に評価の高い設計チーム「SANAA」の妹島和世さんが設計した新文化会館は、鶴岡市の新しいランドマークになります。経費を引き

## 新文化会館・総事業費は60億円！

締めながらも、鶴岡市内外から訪れる数多くの来館者を自信をもってお迎えできる施設に仕上げることが、私たちの次代への責任です。

そして何よりも、ハードに見合うソフトの充実が重要。今年度中に策定予定の「管理運営計画」はもちろん、開館までの2年半を生かして、市民側の準備や体制づくりを進めていかねばなりません。変化の速い時代、行政だけの判断では立ち行きません。官民で知恵と力を出し合うことが必須です！

- 【今号目次】
- ・新文化会館 総事業費決まる！
  - ・9月定例会一般質問報告
  - ・12月定例会一般質問報告
  - ・《ルネサス鶴岡工場》情報局
  - ・会派、委員会決定！
  - ・鶴岡公園のクジャクの行き先



### ご報告 サヨナラ文化会館 ～みんなでつくる感謝のつどい～ 1月5日(日) 13:30～ 鶴岡市文化会館にて

1月12日の鶴岡地区の成人式の後に取り壊され、改築のために2年半の休館に入る鶴岡市文化会館。「サヨナラ！そして、ありがとう！」の思いをこめて、子どもから80代まで数百名の市民が参加。ダンス、合唱、ジャズetc. 多彩なパフォーマンスで賑やか＆華やかなフィナーレが実現しました！平成28年夏、新しい文化会館がオープンした暁には、ジャンル間・世代間の交流が一層盛り上がることを願って。

# 定例会報告

平成25年度9月定例会、12月定例会を振り返ります。なお、鶴岡市議会ホームページから、本会議の映像や会議録をご覧ください。

→ <http://www.city.tsuruoka.yamagata.jp/gikai/>

## H25年9月定例会・一般質問

### ◆テーマ

- 1. 新文化会館について
  - (1) 管理運営計画について
  - (2) 実施設計について
  - (3) 建設スケジュールと予算について

9月定例会にて、9月11日に一般質問に登壇。新文化会館の「管理運営計画」策定、「実施設計」、建設のスケジュールと予算について当局の考えを問いました。

## 新文化会館について

### (1) 管理運営計画について

「管理運営計画」とは、新文化会館の事業計画や運営組織、市民参加のあり方などについて定める基本的な指針です。これまでの文化会館は貸しホールが主な用途でしたが、新文化会館は自主事業なども行なって地域のにぎわい創出に貢献していく

文化拠点です。そのために、ハード整備と併行してソフトの面も議論していく必要があります。

■田中議員 2回の市民ワークショップの成果を、どのように管理運営計画検討委員会へ反映させていくのか。今後のスケジュールは、来年度以降、どのように議論を深めていくのか。

■教育部長 管理運営についての市民ワークショップを8月に2回開催し、20歳代から80歳代の市民から数多くの意見を得たので、今後4回開催予定の検討委員会で参考にする。管理運営計画は来年度以降の実施計画検討への方向性も盛り込んで、今年度中に策定する。

### (2) 実施設計について

7月6日、新文化会館の「基本設計」についての説明会のために、世界的設計チームSANAAの妹島和世さんをはじめ、舞台・音響などの専門家が来鶴。100名以上の市民が説明を聞きました。そこでの要望や意見なども踏まえながら、より詳細な「実施設計」が進められています。

今回は特に、東日本大震災以来重要性を増している「エネルギー」の問題と、森林文化都市・鶴岡市のまちなかにおける新しいシンボルとして地元産木材をどう活用する方針なのか質問しました。

つるおか市議会だより  
平成25年9月定例会号



田中 宏  
議員

新文化会館の管理運営、実施設計、建設の現状と方向性は

議員 管理運営計画策定への市民参加と今後の予定は。昨今の資機材と人件費の高騰、消費税アップなどが建設スケジュールと予算に与える影響は。

教育部長 管理運営についての市民ワークショップを8月に2回開催し、20歳代から80歳代の市民から数多くの意見を得たので、今後4回開催予定の検討委員会で参考にする。管理運営計画は来年度以降の実施計画検討への方向性も盛り込んで、今年度中に策定する。実施設計は9月末の完了予定である。建設スケジュールは、27年度内の竣工、28年度当初の開館を目指していきたい。実勢価格を充分調査し、消費税の影響等にも対応した設計価格と工期を設定し、適正に



新文化会館 管理運営ワークショップ

工事発注していきたい。  
議員 実施設計において、省エネルギーや本市の資源である再生可能エネルギーの利用、森林文化都市にふさわしい地元産木材の活用は配慮されているか。  
建設部長 屋根や壁には高断熱の素材を、照明にはLEDなど高寿命で高効率の器具を、冷暖房には地中熱を活用するなど、省エネと環境負荷の低減、さらには光熱費など維持管理費の軽減を図る予定である。新文化会館は鉄筋コンクリートと鉄骨を組み合わせた設計だが、内装や家具などに地元産木材を活用することで、森林文化都市にふさわしい文化会館を実現したい。

■田中議員 実施設計において、省エネルギーや本市の資源である再生可能エネルギーの利用、森林文化都市にふさわしい地元産木材の活用は配慮されているか。

■建築部長 屋根や壁には高断熱の素材を、照明にはLEDなど高寿命で高効率の器具を、冷暖房には地中熱を活用するなど、省エネと環境負荷の低減、さらには光熱費など維持管理費の軽減を図る予定でいる。新文化会館は鉄筋コンクリートと鉄骨を組み合わせた設計だが、内装や家具などに地元産木材を活用することで、森林文化都市にふさわしい文化会館を実現したい。

鶴岡市文化会館改築設計業務委託 基本設計報告書【概要図】



### (3) 建設スケジュールと予算について

この定例会では加茂水族館の工期延長についての質問が多く出ており、資材・機材や人件費の高騰、職人の人手不足などが主な原因との答弁です。来年から解体工事に入る新文化会館についても影響は少なくないはず。

また、県内の公共工事で、従来より2割増し3割増しの価格を提示してさえも、入札の不調が多発している現状があります。入札の遅れは完成の遅れにつながるのなるべく避けたい。消費税アップも含め、価格高騰の影響と今後のスケジュールについて問います。

■田中議員 昨今の資機材と人件費の高騰、消費税アップなどが、建設スケジュールと予算に与える影響は。

■教育部長 実施設計は9月末の完了予定である。27年度内の竣工、28年度当初の開館を目指していきたい。実勢価格を充分調査し、消費税の影響等にも対応した設計価格と工期を設定し、適正に工事発注していきたい。

## H25年12月定例会・一般質問

### ◆テーマ

1. 施設の老朽化への対応について
  - (1) 橋梁について
  - (2) 学校体育館について
  - (3) 消防ポンプ庫について
2. 文化会館休館中の施設不足への対応について

### 1. 施設の老朽化への対応は？

鶴岡市には膨大な市有施設があり、設置後かなりの年数が経過しているものも少なくありません。老朽化対策・長寿命化が急務です！

#### (1) 橋梁について

■田中議員 今年3月に策定された「鶴岡市橋梁長寿命化修繕計画」を踏まえて、市内の老朽化が著しい橋梁についての現状と今後の方向性は。

■建設部長 市が管理する橋梁は834あり、本年3月に鶴岡市橋梁長寿命化修繕計画を策定した。予防保全型の管理手法に転換することで、今後50年間で約3割のコスト減を見込んでいる。工事の優先度が高い橋梁は上内川橋、熊坂橋、柳橋等である。

↓柳橋（七日町観音堂付近）

橋桁の裏から撮影↓



特に優先度の高い橋のひとつが「だるま市」の七日町観音堂の近くにある「柳橋」です。昭和29年の竣工で、60年の間にかかなり傷んでいます。予防的に補修していくことで、橋の寿命を延ばし、トータルの維持コストを下げられる計算です。

\*\*\*\*\*

ブログ ツイッター フェイスブック  
BLOG / twitter / Facebook での情報発信も！

<http://tanaka-tsuruoka.net/>  
[http://twitter.com/tanaka\\_hiroshi](http://twitter.com/tanaka_hiroshi)  
<http://www.facebook.com/tanaka.officefon>

## (2) 学校体育館について

■田中議員 今回の12月定例会に鶴岡第四中学校と温海小学校の耐震補強事業予算が上程されている地元からも強い要望を出されている栄小学校の体育館について質問する。学校体育館は児童および地域全体のための体育施設として活用されている他、有事には防災拠点としても機能する重要な施設である。

栄小学校体育館の強度の現状について、それから補強、あるいは改築によって耐震対応する場合の費用は。栄小学校は「学校適正配置計画」対象校になっているが、耐震補強あるいは改築との関係は。

■教育部長 栄小学校の体育館は耐震性不足で改築が望ましいが、整備費約2億円に係る国の補助金申請をするにあたり、学校適正配置計画との整合性が問題となる。

「学校適正配置計画」は、鶴岡市内の小中学校を統廃合し、小規模校を無くしていくというもの。栄小学校もその対象になっていますが、地元から学校が無くなることに住民の抵抗感が大きく、合意に至っていません。教育委員会の学校統廃合を推進する姿勢が妥当かどうかは意見の分かれるところですが、子ども達を耐震性不足の体育館で活動させておくのは論外だと思います！

## (3) 消防ポンプ庫について

■田中議員 鶴岡市内の消防ポンプ庫の数や老朽化、耐震性の現状、調査の現状は。特に朝陽第四小学校のすぐ近く、陽光町のポンプ庫は老朽化が激しく、地元消防団や町内会の方々からも強い改築要望が出ている。四小の移転に伴う跡地利用とも関連して、今後の見通しは。

■消防長 本市の消防ポンプ庫は332棟あり、建築年数40年以上を目安に改築している。陽光町の消防ポンプ庫は52年が経過し、ホース乾燥棟の整備も含め、移転・改築が必要であり、関係部署と協議しながら進めていく。



陽光町の消防ポンプ庫は、朝陽四小に入っていく道のすぐ脇にあります。半世紀に渡って防災を担ってきた歴史を物語るように、屋根裏にはかつて活躍したであろう「馬そり」もありました。今回、近隣の複数の自治会長が連名で改築要望書も提出しました。

つるおか市議会だより  
平成25年12月定例会号



### 市有施設の老朽化対策は

議員 市有施設の老朽化対策・長寿命化が急務。橋梁、学校体育館、消防ポンプ庫の現状は。建設部長 市が管理する橋梁は834あり、本年3月に鶴岡市橋梁長寿命化修繕計画を策定した。予防保全型の管理手法に転換することで、今後50年間で約3割のコスト減を見込んでいる。工事の優先度が高い橋梁は上内川橋、熊坂橋、柳橋等である。教育部長 栄小体育館は耐震性不足で改築が望ましいが、整備

費約2億円に係る国の補助金申請をするにあたり、学校適正配置計画との整合性が問題となる。消防長 本市の消防ポンプ庫は332棟あり、建築年数40年以上を目安に改築している。陽光町の消防ポンプ庫は52年が経過し、ホース乾燥棟の整備も含め、移転・改築が必要であり、関係部署と協議しながら進めていく。

### 市有施設の有効活用は

議員 アートフォーラムや市庁舎などの市有施設を、もっと市民活動に開放していくべきでは。教育部長 鶴岡アートフォーラム内のフォーラムが市民活動の場として利用しやすくなるよう、展示事業などの日程を踏まえた調整を行っていきたい。総務部長 本庁舎1階ロビーでの作品展示は、業務、庁舎管理上支障のない範囲で可能と思う。



鶴岡アートフォーラム

## 2. 文化会館休館中の施設不足への対応は？

文化会館の改築工事に伴い、旧・青年センターも取り壊されます。多くのサークルが活動場所を失い、市内の会場予約の競争が激化することが予想されます。中央公民館やコミセンのフル活用はもちろん、その他の市有施設についても市民による活用の可能性を検討すべきだと考えます。

■田中議員 アートフォーラムのフォーラム部分や、本庁舎ロビー、地域庁舎の元・議場などを市民に開放して活用する考えは。

■教育部長 鶴岡アートフォーラム内のフォーラムが市民活動の場として利用しやすくなるよう、展示事業などの日程を踏まえた調整を行っていききたい。

■総務部長 本庁舎1階ロビーでの作品展示は、業務、庁舎管理上支障のない範囲で可能と思う。



そもそも、鶴岡アートフォーラムの《フォーラム》部分は、上映会やコンサートなどにも対応可能な「広場」として、空間の可能性を広げるために設計されました。現在の「年に数回ほどコンサートに利用する程度」ではもったいない！

市役所本庁舎ロビーで作品展示やミニコンサートに活用するなど、住民の元気を庁舎に取り入れ、市民と行政の距離を縮める取り組みがほしい。

また、学校統廃合が進む中、廃校の跡地利用も地域住民主体で検討すべき重要な課題です。

## 《ルネサス鶴岡工場》情報局 ~ facebook

### ≫ルネサス鶴岡工場に薄明かりが差してきた！

12月3日付の東洋経済オンラインが掲載した【ソニーがルネサス鶴岡への出資を目論むワケ】という記事を皮切りに、マスコミ各社が競うようにソニーのルネサス鶴岡工場買収の可能性を報じています。私が管理している「《ルネサス鶴岡工場》情報局」というFacebookページに代表的な記事をまとめておきましたので、ご高覧ください。

→ <https://www.facebook.com/rene.tsuru.info>

それらの記事を総合すると・・・



・鶴岡工場のクリーンルームのほか、生産設備の7割をソニーが転用できる可能性がある

・同工場の製造技術に対する業界の評価は高く、ソニーはイメージセンサーの生産能力を増強するため、同工場の活用を検討している

・両社は週明けにも覚書を結び、買収に向けて製造設備や建屋などの資産査定に着手する見通し

・交渉が順調に進めば、ソニーは来年3月末までに鶴岡工場を運営するルネサス山形セミコンダクタ（鶴岡市）の株式を取得、従業員約900人の一部を引き継ぐ方向

・鶴岡工場をCMOSセンサーの製造ラインに転用する場合、工場への出資金だけでなく製造装置を入れ替えるなど追加投資が必要になる

・過去のTSMCへの売却交渉もまとまらなかった経緯などから、「すんなり決まるとは考えにくい」との声も

その後、12月18日付の日本経済新聞によれば、雇用については「車載用半導体などを生産する鶴岡東工場（鶴岡市）に勤務する人員を除く約700人」を対象に「7割程度を引き継ぐ方向で検討する見通し」。

・スマートフォン（スマホ）に組み込むカメラ用イメージセンサーを月2万枚（300ミリウエハー換算）生産するため、300億円弱を追加投資する方向で検討

・1月末をめどに買収の是非を判断

・鶴岡工場の製造設備のうちルネサスの主力的那珂工場（茨城県ひたちなか市）に移転する分を明確にしたうえで、鶴岡工場に残す設備を評価。70億円前後をベースに最終的な買収額を固める

鶴岡市と山形県が連携して、積極的に誘致活動に乗り出すべきだと考えます。現状のままでは、座して死を待つのみ。数百名の従業員の雇用が失われるだけでなく、ご家族とともに鶴岡を離れざるを得ない方々も多いはず。働き盛り・子育て世代がごっそり抜けることで、地域の元気が損なわれることは否めません。

ソニーが鶴岡工場を引き継いだ場合には、地元事業者との取引が進むようコーディネートしていくことも重要です。もちろん、現在ルネサス鶴岡工場を主要な取引先に行っている地元事業者への支援も不可欠でしょう。

# 会派、委員会決定！

鶴岡市議会の会派構成が決まりました。7人もの新人が加わったにもかかわらず、市長の出身母体であり自民系の「新政クラブ」が過半数を占める構図に変化はありません。そして私自身は、2期目も会派に所属しないことを決断しました。

これまでの4年間、当局提案や市民からの請願に対して、会派としての判断に倚りかかることなく是々非々で臨んで参りました。これからも、政党や支持団体の制約を受けずに、多様な市民の声を市政に反映するべく行動していきます。

ちなみに、無所属議員を露骨に冷遇している議会も多い中、鶴岡市議会では質問時間について、全議員に定例会での一般質問が30分間保証されています。

## ◎ 会派 (平成 25 年 12 月 3 日現在)

### ◆ 新政クラブ (18名)

佐藤文一、佐藤聡、岡村正博、小野寺佳克、今野良和、本間信一、上野多一郎、本間新兵衛、五十嵐一彦、神尾幸、渋谷耕一、佐藤博幸、齋藤久、五十嵐庄一、野村廣登、尾形昌彦、菅原一浩、佐藤久樹

◆ 市民クラブ (6名) 小野由夫、石井清則、渡辺洋井、加賀山茂、佐藤峯男、今野美奈子

### ◆ 日本共産党鶴岡市議団 (4名)

関徹、加藤鑛一、菅井巖、加藤太一

◆ 政友公明クラブ (3名) 富樫正毅、中沢洋、秋葉雄

◆ 無所属 (1名) 田中 宏

## ◎ 常任委員会 (平成 25 年 12 月 3 日現在)

	総務	市民文教	厚生	産業建設
委員長	佐藤 聡	岡村 正博	佐藤 峯男	小野寺 佳克
副委員長	加藤 鑛一	本間 新兵衛	佐藤 文一	石井 清則
委員	今野 美奈子	加賀山 茂	渡辺 洋井	田中 宏
	小野 由夫	加藤 太一	菅井 巖	関 徹
	尾形 昌彦	富樫 正毅	秋葉 雄	中沢 洋
	佐藤 博幸	上野 多一郎	佐藤 久樹	五十嵐 一彦
	齋藤 久	菅原 一浩	今野 良和	本間 信一
	五十嵐 庄一	野村 廣登	渋谷 耕一	神尾 幸

全ての市議は4つある常任委員会の中の1つに所属します。私はこれまで4年間所属した総務常任委員会を離れ、産業建設常任委員会に所属することになりました。総務常任委員会では、市政全体を見る視点を学びました。

産業建設常任委員会では「農林水産部、商工観光部、建設部、上下水道部、農業委員会の所管に

属する事務」を担当します。ルネサスの状況などを見ても、森・里・海に恵まれた鶴岡市ならではの農林水産業をはじめとする産業振興は焦眉の課題です。また、観光は「感幸」と言われる通り、観光振興とは多くの方々が鶴岡を訪れて幸せを感じられるようにすること。そのためには、自らの足下を見つめ、地元の宝を掘り起こして発信していくことが大切です。その他、ルネサス鶴岡工場、新文化会館、リニューアル工事中の加茂水族館など、山積する市政課題に取り組んで参ります。

## ブログより 鶴岡公園のクジャクの行き先

ツイッターで、鶴岡公園のクジャクの行き先について質問を頂きました。長年、市民に愛されてきた鳥たちだったので、関心のある方も多いですね。

(1) 鶴岡公園の鳥小屋(「禽舎」といいます)が老朽化したため、建て替えせずに取り壊すことに決定。クジャク6羽とハト20羽の行き先が問題になった。

(2) 鶴岡市HP【鶴岡公園で飼育の鳥類(クジャク・ハト)の譲与について】で、引き取り先を公募。

(3) 市内の愛好家2名から応募あり。市役所で飼育環境や周囲への影響などをチェックし、OKと確認されたので、分けて引き取って頂いた。



↑ 在りし日の鳥小屋

取り壊し作業中↑

↓ 撤去完了

閑散とした風景↓



鳥小屋のあったスペースの活用は来年度の課題です。去る8月に開催された鶴岡公園環境整備懇談会でも議論されました。市民にとって、観光客にとって、中心市街地の城址公園がどうあるべきなのか、みんなで知恵を出し合いましょう！

